

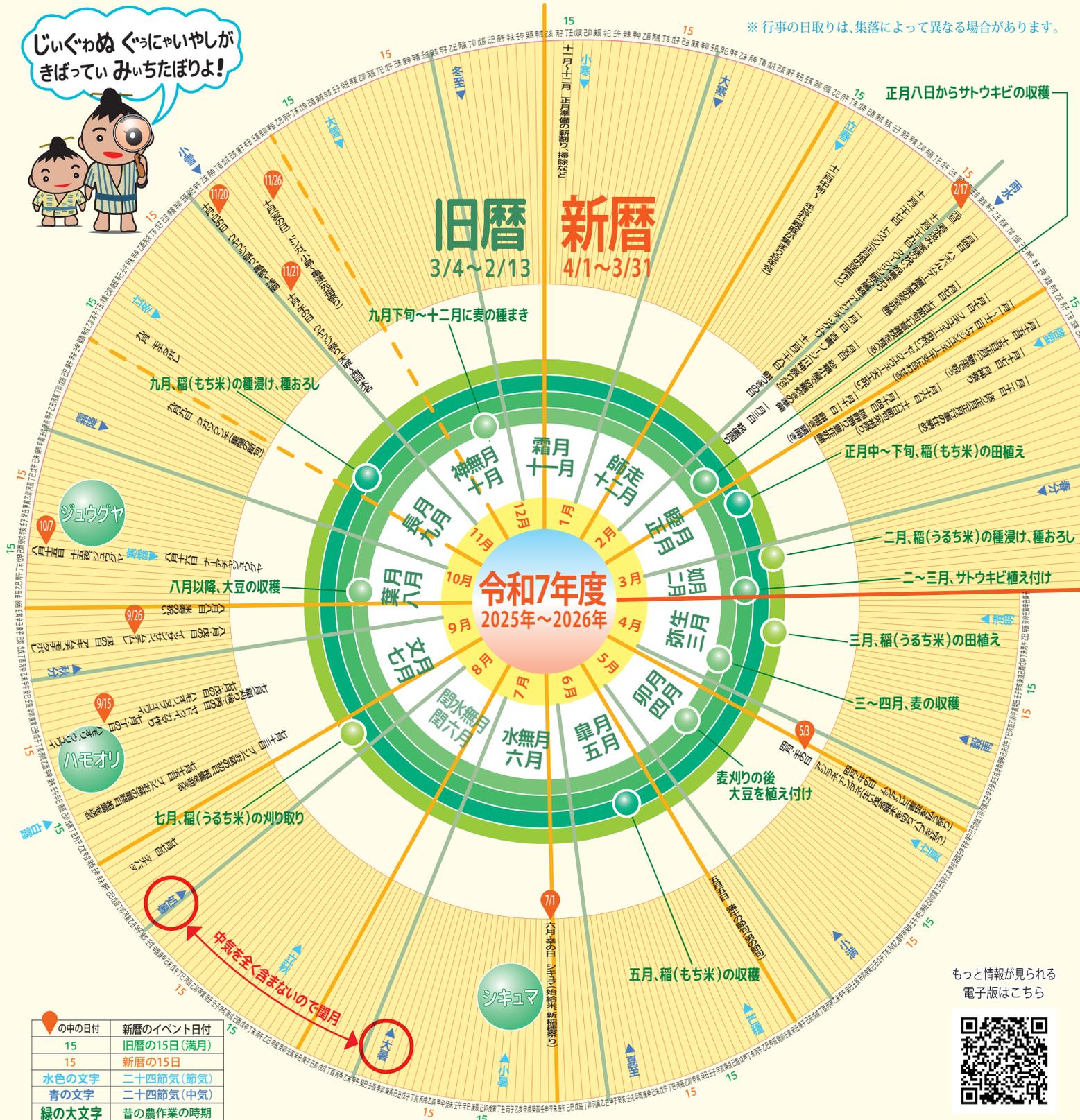
旧暦(太陰太陽暦)の1年はおおよそ354日で、今年はおおむね3年ごとに巡ってくる閏月があります。もともと古来より東アジアでは、紀元前発祥の中国暦を基にした暦を運用しており、いにしへの日本でも朝廷の陰陽寮で編暦が行われていました。貞享元年(1684年)、朝廷が貞享暦を採用してからは、徳川幕府の天文方が編暦を行うようになります。現在の旧暦は、江戸時代最後の暦、天保暦を基に国立天文台で算出していますが、基準点を旧来の京都から、兵庫県を通る子午線(東経135度)に移したため、天保暦とは1日程度のズレが生じることがあります。編暦の仕組みは、まず月の満ち欠けから1ヶ月(29日か30日)を決めます。太陽暦の一年、365日との差を補うため太陽観測により求めた夏至、冬至、春分、秋分などを含む二十四節気のうち、中気を全く含まない月が巡ってくると閏月(前の月の繰り返し)として、一年を13ヶ月に延長して調整します。さらに、中国由来の二十四節気の用語では伝わりにくい季節感を補うため、土用、八十八夜、入梅、二百十日などの雑節を加え、暦を発行していました。

# 今年は旧暦6月が2回ある!?

## 令和7年度 旧暦行事カレンダー

※ 行事の日取りは、集落によって異なる場合があります。

じいぐわぬ ぐうにゃいやしが  
きばってい みいちたばりよ!



📍	中の日付	新暦のイベント日付
15	旧暦の15日(満月)	
15	新暦の15日	
🌊	水色の文字	二十四節気(節気)
🌿	青の文字	二十四節気(中気)
🌳	緑の大字	昔の農作業の時期

もっと情報が見られる  
電子版はこちら



なんと、2033年には旧暦の計算に矛盾が生じ、さらに2147、2223、2242年にも起きるそうです!